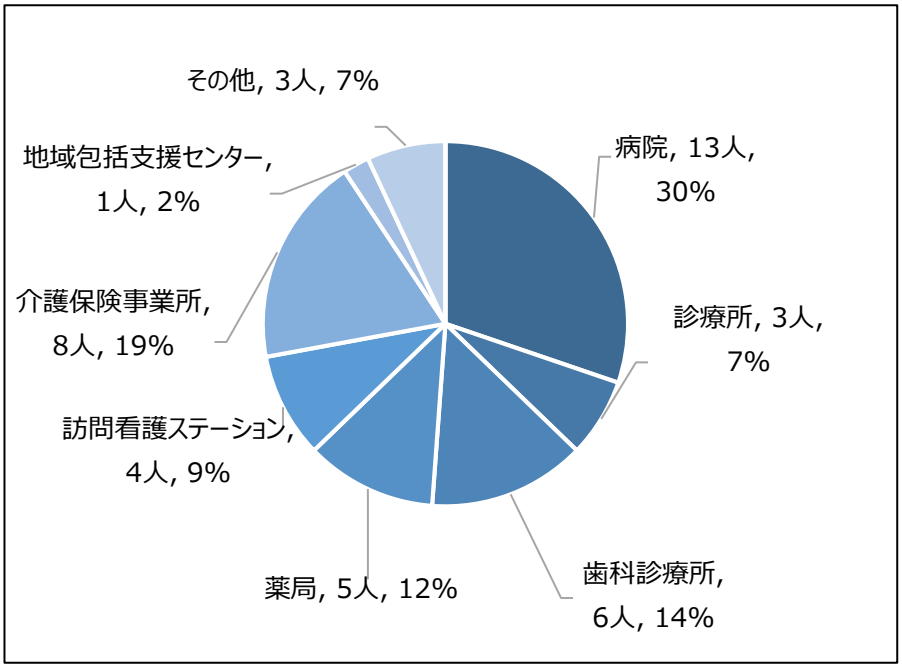
令和元年度　中区ACP研修会（概論編）　アンケート結果

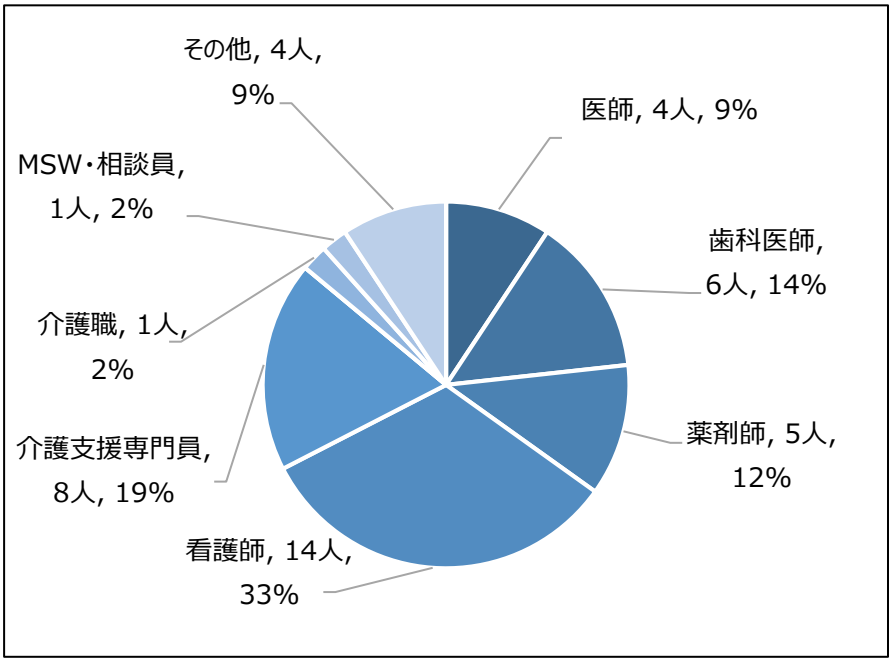
日　時：　令和元年10月27日（日）10:00～12:00
場　所：　独立行政法人国立病院機構　名古屋医療センター　5階講堂
アンケート回収率：　95%（アンケート回収43枚／参加者45名）

1．参加者ご自身について

①所属を教えてください

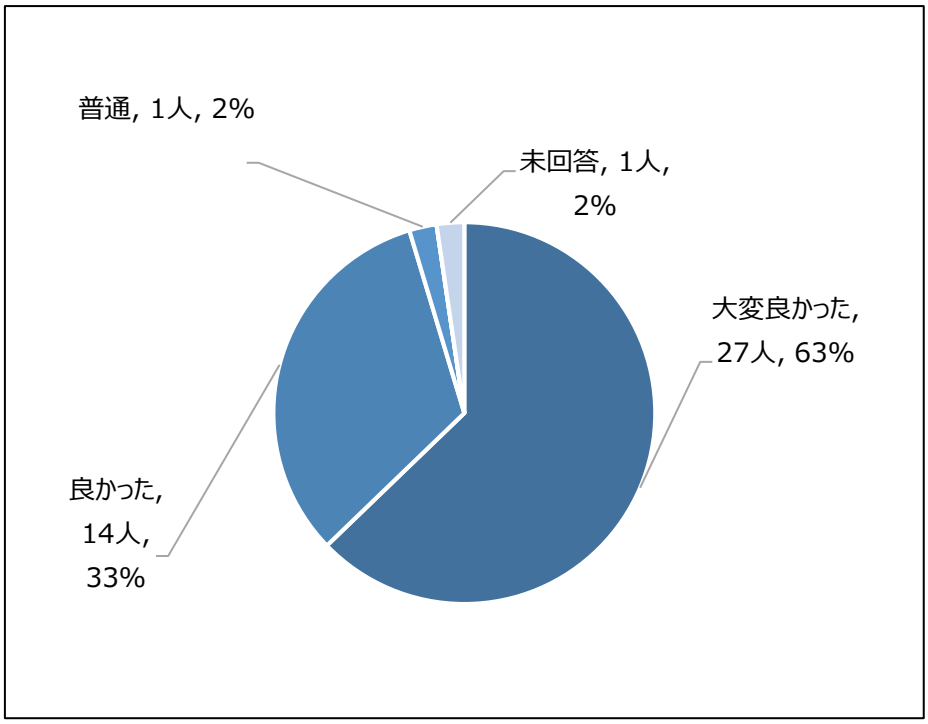


②職種を教えてください

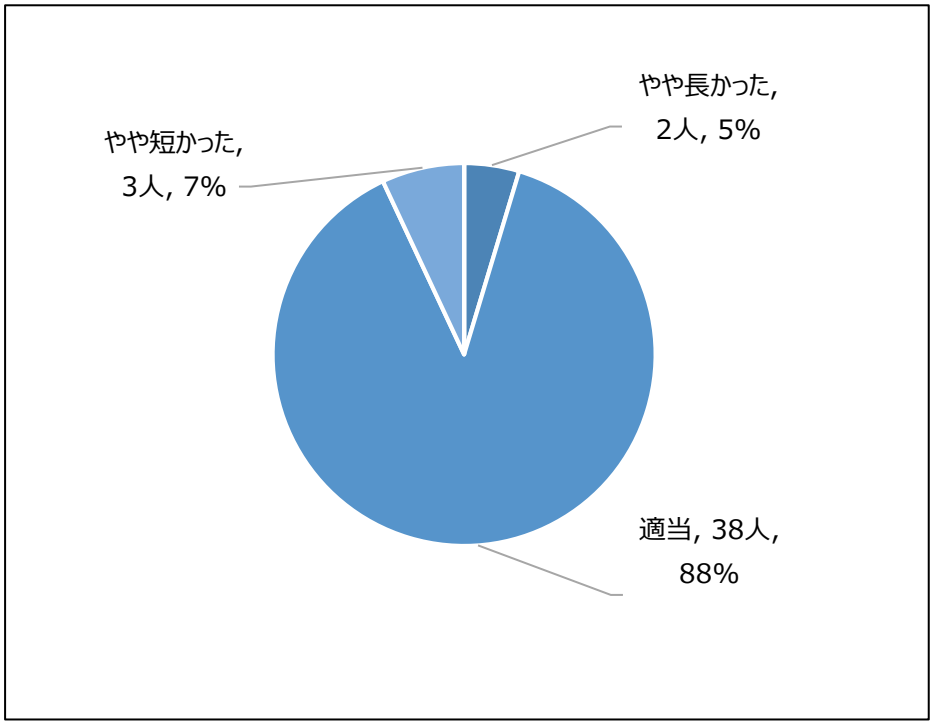


２．講義（ＡＣＰ概論）について

①内容はいかがでしたか？

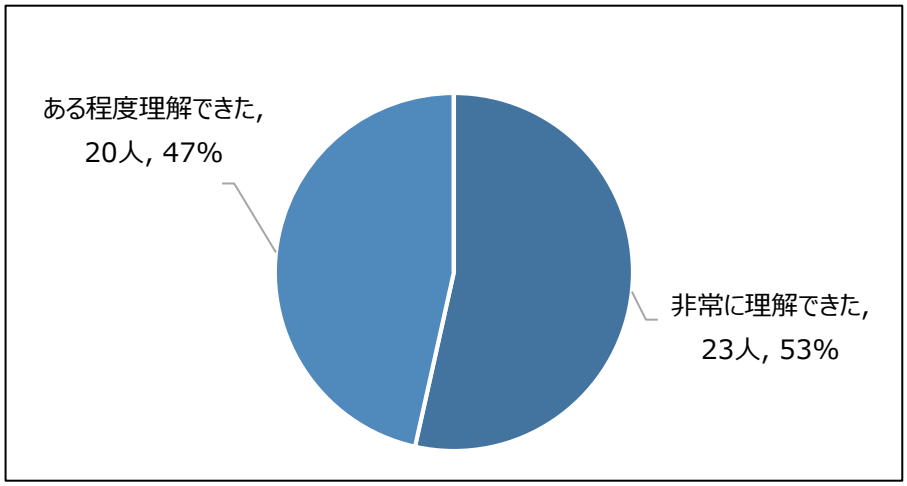


②時間はいかがでしたか？

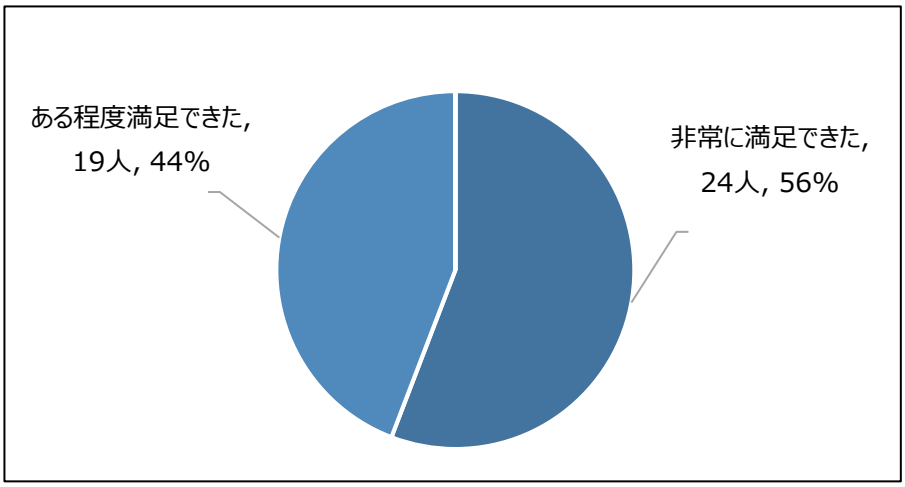


3．グループワークについて

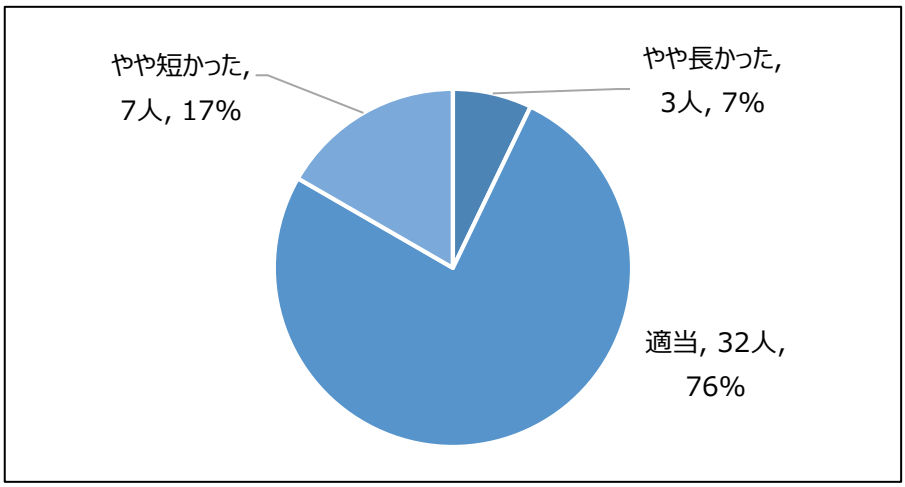
① ねらい「日々の実践からACPを考えよう　～今までと何が違う？～」は理解できましたか？



② ディスカッションは満足できましたか？

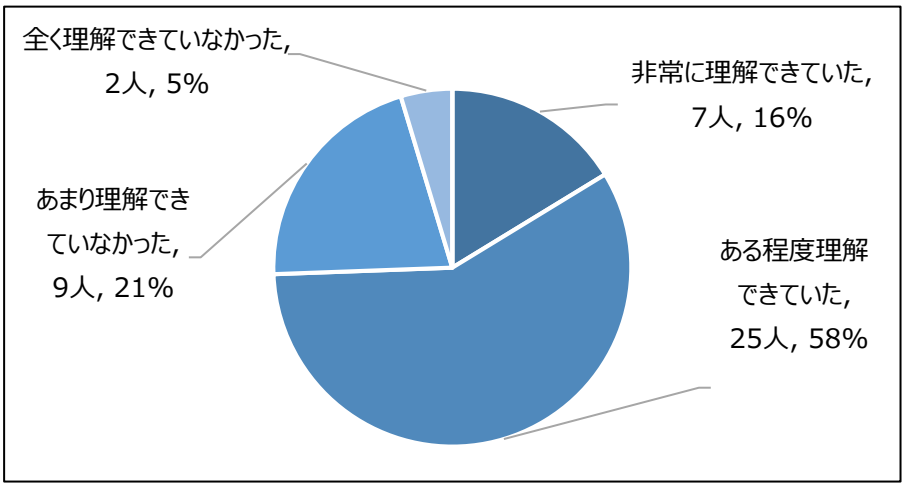


③ 時間（ディスカッション・発表）は適当でしたか？

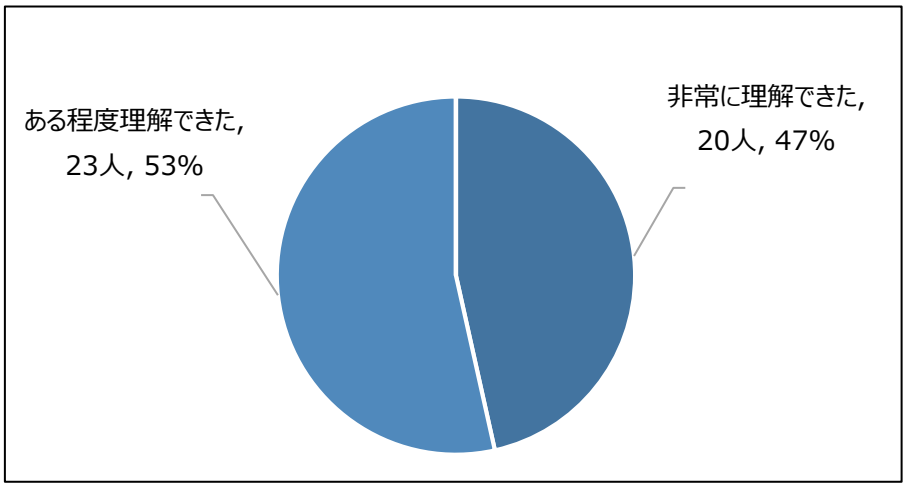


４．本ＡＣＰ研修会について

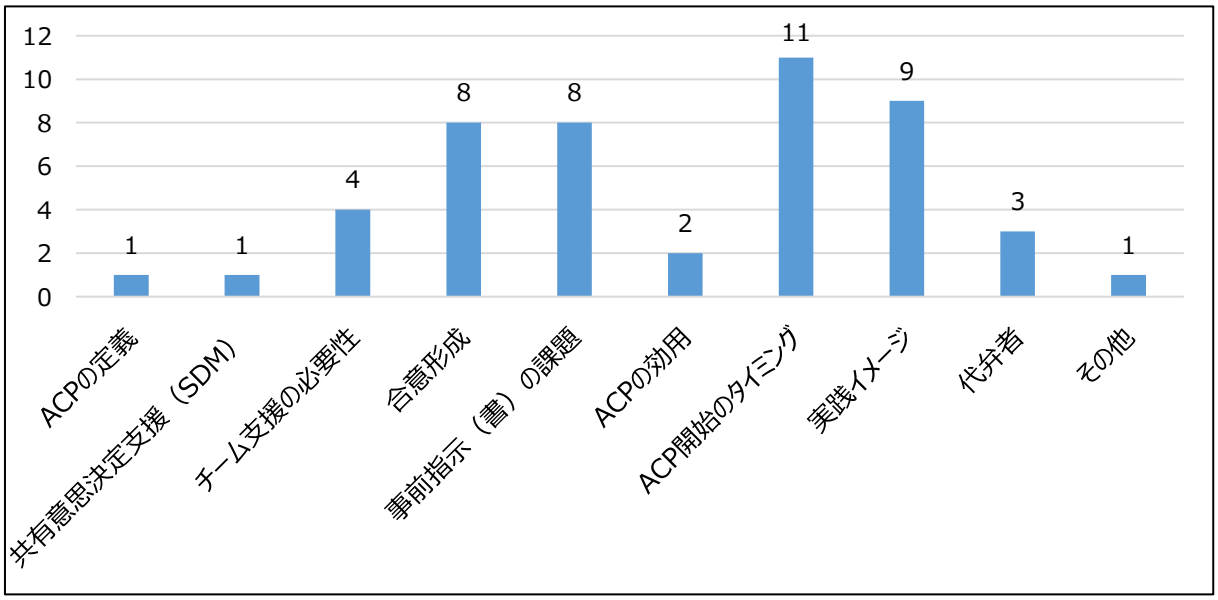
① 本研修会**参加前**のＡＣＰの理解についてお答えください



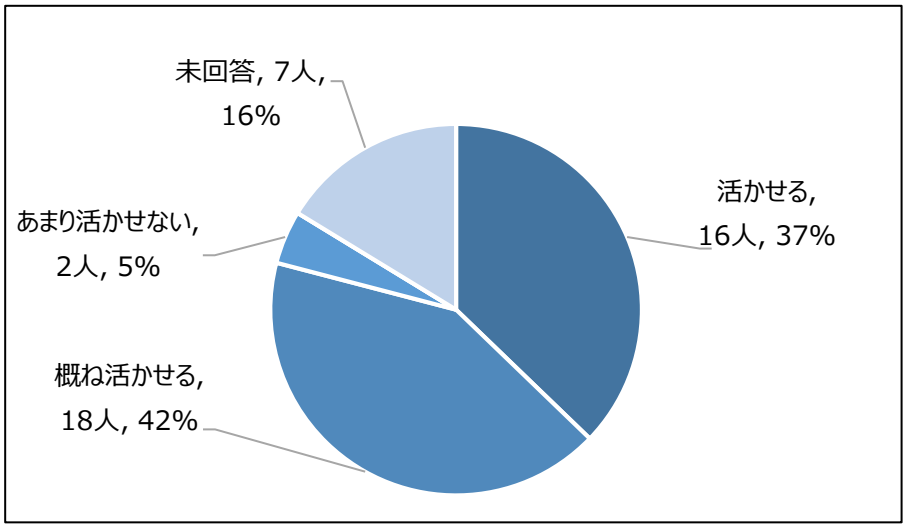
② 本研修会**参加後**のＡＣＰの理解についてお答えください



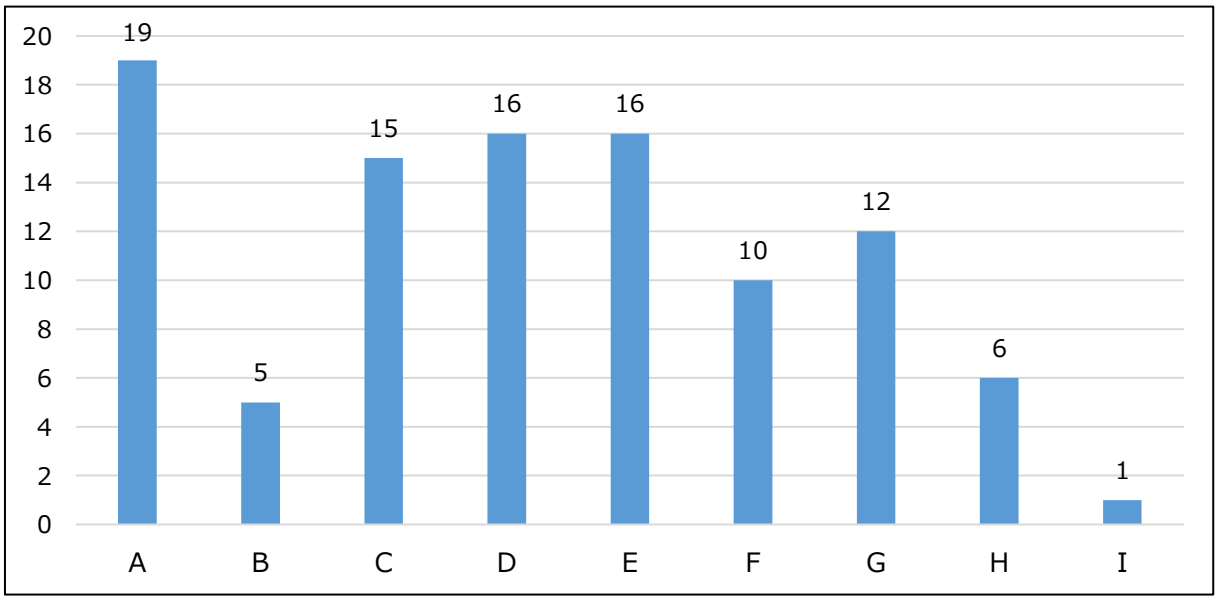
③ 本研修会で理解が難しかった点について、具体的にご記入下さい。（複数選択可）



④ 本研修会の内容は、今後の実践に活かせますか？



⑤ 実践する上で困難と感じる点について、具体的にご記入下さい。（複数選択可）



A: チーム内（多職種）の意欲・理解深度の差
B: 職場内（上司等）での理解が得にくい
C: 日常業務の多忙
D: 患者・家族・市民の無関心
E: 始めるタイミング、きっかけ
F: 言葉かけの手法、技術
G: 言語化・表出されるものが真意であるかの汲み取り
H: 信頼関係の構築
I: その他

５．本日の研修、また今後の研修へのご意見やご要望等をお聞かせください（抜粋）

- 今後も、このような研修会、企画を希望。
- それぞれの場所で働く多職種の方々と色々と話ができて良かったです。
- 様々な立場や役割の方たちとの意見交換ができて有意義だった。
- 色々な立場の方からの考え方や感じていることが聞けて有用でした。”日々変化する思いをつないでいくこと”の大切さを実感しました。
- SDMの９ステップを知る事ができた。ACPについて過程を理解する機会となった。
- ACPの関心が高まっている中、ACPの質の向上について考えなければならないなと感じています。どんな時期に介入するのか、タイミングにおいても勉強になりました。
- フォローアップ編、期待します。概論編終了時コメントしましょう。
- ありがとうございました。
- 高齢化社会に向けて、大切な研修　ありがとうございました。
- 健康サポート薬局めざして、頑張ろうと思います。薬剤師も地域医療に積極的に参加していきたいと思います。
- もう少し代弁者について等、具体的な内容があっても良いのではと思いました。家族等キーパーソンも急に代弁者に指名されて困惑したり、責任の重大さで悩むケースもあると思います。
- ACPのが理解が深まり、大変勉強になりました。
- 今までしてきたことが書面となり、はっきりとした概念ができた。実践することの難しさはありますが、共有しながら向き合っていきたい。
- ACPに対して市民への活動が大切。各々が意思表示が出来れば良いと思う。
- 多職種・多機関の方と情報交換できたのでとても良かった。今後の業務の中でACPの視点からも支援していくようこころがけたい。
- 行政の立場でこのような研修に参加できたのは、医療・介護の流れ、今の話題など知る事ができ、得るものが多く良かった。
- 情報共有の統一された具体的な方法（名古屋市）。患者家族を含めたツールの開発。
- 事例を通じての意見交換・情報共有。
- 多職種の方との情報の交換などの機会があると、より日々の薬局業務に役立ちます。（日々の業務に用いて思うことなど）多職種連携に薬局が入っていけるきっかけに、なっていくと思います。
- まだまだACPの具体的な内容が実施されていなかったりしていると思いました。国立長寿医療センターのACPファシリテーター研修では、各項目（場面）での実践ロープレがあります。今後の応用編で実践かもしれないですが、その辺りがあってもよいのかと思いました。
- 多職種連携できる研修。